

令和7年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立仲六郷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ 少人数グループでアドバイスをし合いながら活動に取り組み、技術の習得が高まった。
- ・ できる限り実習の機会を設けたことで、技能を身に付け、日常生活に生かせるようにすることができた。

(2) 課題

- ・ 技能の習得では個人差が大きく、個別に支援が必要な児童もいたため、題材の精選や段階的な指導の工夫などに課題がある。
- ・ 生活経験の差から、自分の生活を振り返るときに意欲や思いに差が出てしまうことも多く、自分事として捉える力が不十分である。



2 授業改善のポイント

- ・ 高学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|
| 5年 ・技能の習得の場面では、ICT機器なども活用し、確実に定着させるために児童が実践しやすい題材を選ぶ。  | 5年 ・家庭生活を振り返り、より良い生活を目指すために、長期休業時などに計画・実践できるような内容を提案する。実践した内容は目に見える形にまとめ、友達と共有する時間をもつ。 | 5年 ・家庭科学習ノートを活用して、学習のねらいや実践の計画をしっかりと立て、見通しをもたせる。また、計画をもとに主体的に活動できるようにする。 |
| 6年 ・技能の習得場面では、実物投影機などを活用して見やすく拡大したり、少人数グループによる学び合いの場を設定したりする。 | 6年 ・自分なりの課題を解決する楽しさや実生活への期待がもてるように、家庭と連携しながら実生活との関連を図った学習を効果的に取り入れる。 | 6年 ・自分の生活を振り返り、5学年の既習事項や経験を生かして実行できるような実践的な活動を設定するとともに、家庭科ノートを活用して計画的に学習に取り組ませる。 |